

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「インバウンドさん、よく来たね。」第2弾浅間山麓外国人観光客誘客事業
事業主体 (連絡先)	浅間山麓産業振興推進協議会 (小諸市相生町3-3-12 小諸商工会議所内 ☎:0267(22)3355)
事業区分	(6) 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	755,700円 (うち支援金:604,000円)

事業内容

軽井沢町、御代田町、小諸市、東御市の商工会議所・商工会、観光協会の8団体で組織する「浅間山麓産業振興推進協議会」では、浅間山麓の広域的なインバウンド観光客の受入れを目的として、実務者会議を開催し、地域間連携が可能な素材の発掘と情報発信として、観光情報を元に海外から当地域を訪れたインバウンドに対応するためのツール「指さし会話ハンドブック」を作成し併せて、その使用方法も含め「おもてなしの心」を学ぶインバウンド受入れ環境整備セミナーを開催した。

指さし会話ハンドブックは10,000部を作成し構成団体参加の会員に配布した。セミナーには58名が参加し接客の仕方を学んだ。



【おもてなしセミナー】

【目標・ねらい】

①浅間南麓2市2町の連携による外国人観光客の広域的な受入れのための事業であり、「浅間南麓地域」をPRし、増加するインバウンド観光客に広域で対応するためのツールとしたい。

※自己評価【 B 】

【理由】

指さし会話ハンドブックの効果の検証については今後各団体にて情報収集をする。セミナー参加者からは概ね好評であった。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

平成28年度は当支援金を活用し、(株)ダイヤモンドビッグ社が発行する「グッドラックトリップ長野」に浅間山麓地域の観光情報を掲載し、「台湾」「香港」「タイ」「シンガポール」「マレーシア」他に配布した。

平成29年度は当支援金を活用し、観光情報を元に海外から当地域を訪れたインバウンドに対応するためのツールの作成と、その使用方法も含めたおもてなしの心を学ぶセミナーを開催した。

行政の枠を超えて、浅間山麓地域2市2町のインバウンドの受入れ体制の強化が図られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

当地域のインバウンド事業は新たな広域的な事業として考えている。長野県が定期的に海外の観光プロモーション等にパンフレット等を配布していることもあり、昨年からの事業も含めて効果的な情報発信、受け入れ態勢が進んでいるものと思われる。

今後の当協議会のインバウンド対応事業としては、飲食店等のメニューの翻訳支援事業や、観光ボランティアの育成事業等を実施していきたい。